

令和6年4月1日から施設使用料が変わります

中ホールは400円アップ

登米市では、市内の各施設の使用料を見直すことになりました。これにより、市から指定管理を受けている公民館や多目的研修センター、平筒沼農村文化自然学習館の使用料が4月から右の表のように改められます。

例えば公民館の場合、市内唯一の電動式観覧席の機能を有する中ホールは、1時間当たり800円から1,200円へ400円引き上げます。

冷暖房料は個別徴収なし

施設利用の際、使用料に加えて、冷房や暖房の利用に応じて付帯料金が別途必要でした

減免制度は一部適用外も

市では、公の施設の使用に当たり、あらかじめ認められた団体については、その使用料の全額あるいは1/2を減免することにしていましたが、この内容も見直しがされ、一部減免適用が外れることになりました。その概要は右上の表のとおりです。

一例を挙げてその違いを見てみましょう。町内でも舞踊などのサー

られることになりました。大ホールや柔道場もそれぞれ引き上げられる一方、研修室や会議室、和室は従来どおりの使用料に据え置かれます。

また多目的研修センターは、軽スポーツができる青年研修室、多目的研修室のみ、それぞれ100円減額となります。

平筒沼農村文化自然学習館は、全部屋が100円増額となります。

冷暖房料は個別徴収なし

が、4月からはすべて使用料の中に含められることになり、付帯料金は廃止されます。

減免制度は一部適用外も

クルが数多く活動しており、それぞれ文化協会にも加入しているようですが、例えば公民館中ホールを1時間暖房をつけて利用する場合、これまで減免団体適用のため使用料は免除となり、暖房料400円の負担で済んでいましたが、4月からは暖房料の負担はないものの、中ホールの使用料として1,200円が必要となります。

使用料の変更の比較（1時間、単位：円）

● 豊里公民館

区分	現行	変更後	増減額
研修室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
和室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
会議室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
中ホール	800	1,200	400
付帯料金	400	廃止	—
大ホール	1,200	1,800	600
柔道場	300	450	150

● 多目的研修センター

区分	現行	変更後	増減額
談話室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
婦人研修室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
青年研修室	500	400	△100
付帯料金	200	廃止	—
多目的研修室	500	400	△100
付帯料金	200	廃止	—
健康相談室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—
農産加工室	200	200	0
付帯料金	100	廃止	—

● 平筒沼農村文化自然学習館

区分	現行	変更後	増減額
研修室	200	300	100
付帯料金	100	廃止	—
和室	200	300	100
付帯料金	100	廃止	—

個人利用の申請は当日のみ

これまで公民館を個人で利用する場合、事前申請も可能でしたが、4月からは、当日に利用したい部屋が空いている場合に限り申請で

団体別減免の変更内容

区分	現行	見直し後
県、市町村など	免除または5割減額	→
町内会など	免除	→
社協など	免除	5割減額
文化協会、体育協会など	免除	免除(加盟団体は除く)
観光物産協会など	免除または5割減額	5割減額
学校関係	免除	→

電気・燃料費高騰に対応

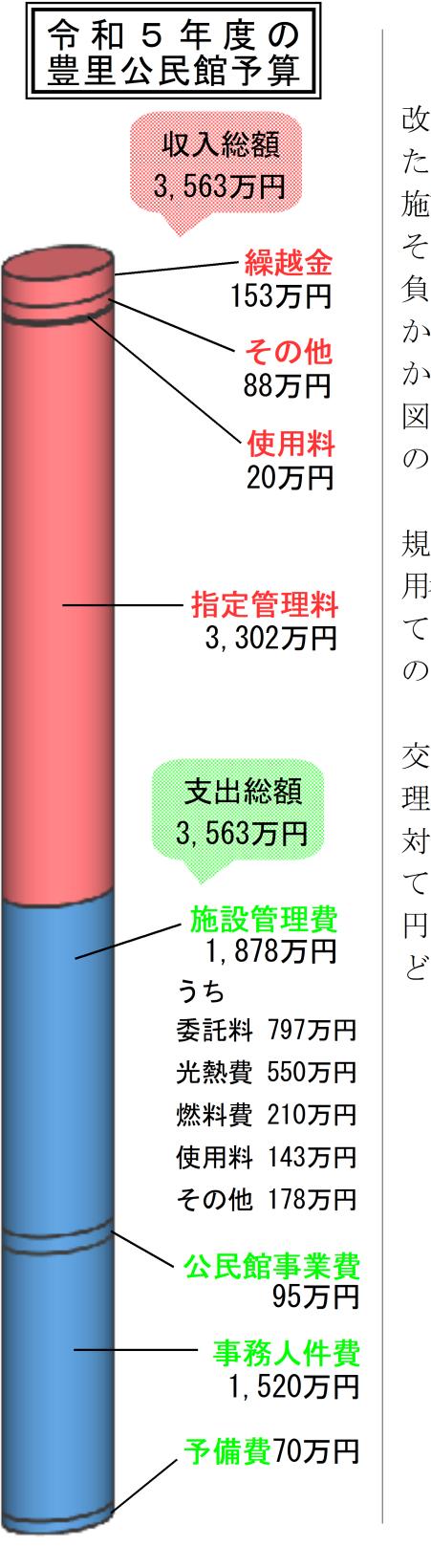
今回使用料が大幅に改正されることになった要因は、市内の公共施設の管理費の高騰と、それに対応する利用者負担の状況を過去にさかのぼって分析したほか、施設利用の統一を図るために行われるもので。

左のグラフは、施設規模が一番大きく、利用者も多い公民館に絞って予算内容を表したもので。

収入の大半を市から交付されている指定管理料が占めているのに 対し、皆さんに負担してもらう使用料は20万円と、全体の0.6%ほどです。

一方、支出を見ると、専門業者などに点検や作業をしてもらう委託料(797万)や光熱費(550万)、冷暖房設備の燃料費(210万)などの施設管理費が、全体のほぼ半分の1,878万となっています。このほか、さまざまな公民館事業の経費95万円や、職員の人件費と事務費、消費税が1,520万円などと続きます。

次に、今回の使用料改定の最大の要因である光熱費と燃料費に着目し、平成30年度から令和4年度までの過去5年間の推移をみると、下のグラフのとおりとなります。



令和2年度までは節約などの効果が功を奏したのか、減少傾向を示していましたが、その後は一転、急激に上昇に転じてしまいました。令和2年度から令和4年度までの間に、電気料は1.57倍(143万円増)、燃料費は1.43倍(54万円増)の決算となっています。

こうしたことばは豊里公民館だけではなく、ほかの施設、さらには各家庭でも同様の環境にあったことと思います。

従来にも増して節約のための工夫は今後も重ねていかなければなりませんが、依然厳しい社会情勢にあること、そして将来的にも安心して利用してもらうために、今回の見直しについて改めてご理解いただきながら、引き続き皆さんに最も身近な施設として、大いに活用していただきたいと思います。